

令和5年7月20日販売開始



旧石器 (八尾南遺跡・太田遺跡出土)



水の祭祀場を表した埴輪 (心合寺山古墳出土)



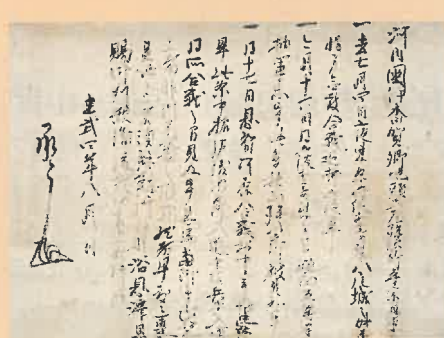
高安千塚古墳群 二室塚古墳



由義寺跡出土の軒瓦



木造聖徳太子孝養像・二王子立像 (大聖勝軍寺蔵)



土屋宗直軍忠状 建武4年 (1337)

最初に八尾で生活を始めたのは、およそ二万年前の旧石器時代の人たちです。彼らは小さな石器をたよりに生きていました。やがて土器が誕生し、そして稲作が始まったのは約二千三百年前で、大きな集落が営まれ、多くの人びとがこの地に住むようになりました。八尾がある河内は、政治・経済の中心となった畿内に位置していたことから、時には日本の歴史の表舞台に登場し、時にはその流れに翻弄されました。この本は、その歴史にかかわった人びとの物語です。

八尾、そして河内の人びとは

日本の歴史にどのようにかかわってきたのか!!

新版 八尾市史 通史編1

古代～中世

監修

寺澤薫

吉江崇

仁木宏

桜井市纏向学研究所センター所長

八尾市史考古部会長

京都大学大学院教授

八尾市史古代部会長

大阪公立大学大学院教授

八尾市史中世部会長

第I部 古代

第一章 河内平野の成り立ち

— 地形と環境の変遷 —

- 第一節 八尾市の地質と地形
- 第二節 断層と地震
- 第三節 大阪平野の生い立ち
- 第四節 八尾の古地理変遷

第二章 旧石器時代の古大阪平野

— 人類の始まり —

- 第一節 ヒトから人へ—人類の進化—
- 第二節 日本列島における人類の出現
- 第三節 近畿地方で始まった旧石器の探求
- 第四節 日本列島と大阪の旧石器文化
- 第五節 後期旧石器時代の八尾

第三章 縄文時代の生活と社会

- 第一節 環境変化と縄文時代の始まり
- 第二節 人口増加と集落規模の拡大
- 第三節 多様な精神文化の発達
- 第四節 縄文文化の終焉

第四章 農業の始まりと政治社会

- 第一節 稲作農業と弥生時代の始まり
- 第二節 濠で囲まれたムラ
- 第三節 四角い墓の世界
- 第四節 ものづくりの技法と物流
- 第五節 戦争はあったか
- 第六節 農業生産と銅鐸のマツリ
- 第七節 倭国の成立と河内のクニ・国
- 第八節 倭国乱の実像と河内のクニ・国
- 第九節 卑弥呼共立への道

第五章 ヤマト王権の誕生と伸張

- 第一節 古墳時代の始まり
- 第二節 ヤマト王権と邪馬台国論
- 第三節 王権の伸張
- 第四節 中河内の集落と前期古墳
- 第五節 百舌鳥・古市古墳群の時代
- 第六節 渡来系集団と生産技術の革新
- 第七節 群集墳の造営とその時代

第六章 考古資料からみる七〜九世紀の八尾

- 第一節 考古資料からみた七世紀の八尾
- 第二節 考古資料からみた八世紀の八尾
- 第三節 考古資料からみた平安時代の八尾

第七章 ヤマト王権と中河内

- 第一節 物部氏の発展
- 第二節 中・南河内の渡来系氏族
- 第三節 物部守屋と蘇我馬子の争い
- 第四節 聖徳太子伝承と飛鳥・白鳳期の寺院

第八章 律令国家の形成

- 第一節 律令国郡里制への移行と地域社会
- 第二節 方格地割・条里の成立と景観の変容
- 第三節 東アジアの動乱と高安城の造営

第九章 道鏡の時代

- 第一節 河内の仏教信仰と宮都
- 第二節 称徳天皇の重祚と道鏡の躍進
- 第三節 西京・由義宮・由義寺の造営

第一〇章 八尾の平安時代

- 第一節 長岡・平安遷都と交通路の再編
- 第二節 平安時代を生き抜く人びと
- 第三節 中河内の式内社とその縁起
- 第四節 仏教先進地の遺産

第II部 中世

第一章 中世社会の到来

- 第一節 摂関・院政期の中河内
- 第二節 鎌倉時代の中河内
- 第三節 新しい信仰の広がり

第二章 南北朝の内乱から室町時代へ

- 第一節 南北朝の内乱
- 第二節 室町時代の中河内
- 第三節 中河内における合戦と人びとの暮らし
- 第四節 畠山氏の分裂と中河内の武士たち

第三章 三好氏勢力の浸透

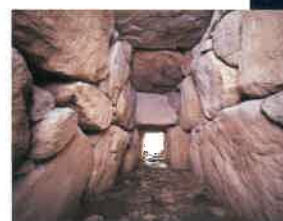
- 第一節 中世における集落の展開
- 第二節 地域社会と信仰

第四章 中世中河内の終焉

- 第一節 元龜・天正の争乱
- 第二節 真宗とキリシタン
- 第三節 大坂築城と八尾

新版 八尾市史

通史編1
古代・中世



○執筆者
第I部 古代

- 大野 薫 立命館大学講師
 - 小倉徹也 大阪府教育委員会文化財保護課学芸員
 - 絹川一徳 (公財) かながわ考古学財団調査研究部発掘調査課主査
 - 黒羽亮太 山口大学講師
 - 菅川尚紀 京都大学大学院助教
 - 寺澤 薫 桜井市纏向学術センター所長
 - 中条武司 大阪市立自然史博物館学芸課長代理
 - 森井貞雄 元大阪府教育委員会文化財保護課総括主査
 - 安村俊史 柏原市立歴史資料館館長
 - 吉江 崇 京都大学大学院教授
- 第II部 中世
- 天野忠幸 天理大学教授
 - 大澤研一 大阪歴史博物館館長
 - 橘 悠太 奈良文化財研究所アソシエイトフェロー
 - 仁木 宏 大阪公立大学大学院教授
 - 山田 徹 同志社大学准教授

『新版 八尾市史 通史編1 古代～中世』

●仕様：B5版 口絵カラー8頁／本文カラー614頁／重量1.5kg ●価格：2,800円 ●発行：八尾市

販売場所

- ・八尾市観光案内所（近鉄八尾駅中央改札階段下）
 - ・八尾市立歴史民俗資料館（千塚3-180-1）
 - ・八尾市立しおんじやま古墳学習館（大竹5-143-2）
 - ・八尾市情報公開室（八尾市役所 本館3階）
 - ・安中新田会所跡旧植田家住宅（植松町1-1-25）
 - ・八尾市立埋蔵文化財調査センター（幸町4-58-2）
- ※郵送を希望される場合は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

八尾市魅力創造部 観光・文化財課 市史編纂室
〒581-0868 大阪府八尾市西山本町三丁目5番25号
TEL：072-924-3038 FAX：072-924-3785 Eメール：shishihensan@city.yao.osaka.jp